

相続税の申告書(続)

修正

○フリガナは、必ず記入してください。

フリガナ		財産を取得した人	参考として記載している場合	財産を取得した人	参考として記載している場合		
氏名			参考		参考		
個人番号又は法人番号		※控用には個人番号の記入は不要です		※控用には個人番号の記入は不要です			
生年月日		年 月 日 (年齢 歳)		年 月 日 (年齢 歳)			
住所 (電話番号)		〒 (- -)		〒 (- -)			
被相続人との続柄	職業						
取得原因		相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与		相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与			
※整理番号		□□□□□□□□		□□□□□□□□			
課税価格の計算	取得財産の価額(第11表③)	①	□□□□□□□□	円	□□□□□□□□	円	
	相続時精算課税適用財産の価額(第11の2表1⑦)	②	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	債務及び葬式費用の金額(第13表3⑦)	③	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	純資産価額(①+②-③)(赤字のときは0)	④	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	純資産価額に加算される 暦年課税分の贈与財産価額 (第14表1④)	⑤	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	課税価格(④+⑤) (1,000円未満切捨て)	⑥	□□□□□□□□	000		□□□□□□□□	000
各人の算出税額の計算	法定相続人の数		□		□		
	遺産に係る基礎控除額		△				
	相続税の総額	⑦	△				
	一般の場合 (⑩の場合を除く)	⑧	□□□□□□□□	円	□□□□□□□□	円	
	農地等納税の適用を受ける場合	⑩	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
各人の納付・還付税額の計算	相続税額の2割加算が行われる場合の加算金額(第4表⑦)	⑪	□□□□□□□□	円	□□□□□□□□	円	
	暦年課税分の贈与税額控除額(第4表の2②)	⑫	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	配偶者の税額軽減額(第5表④又は⑤)	⑬	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	⑫・⑬以外の税額控除額(第8の8表1⑤)	⑭	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	計	⑮	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	差引税額(⑨+⑪-⑮)又は(⑩+⑪-⑮)(赤字のときは0)	⑯	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	相続時精算課税分の贈与税額控除額(第11の2表1⑧)	⑰	□□□□□□□□	00		□□□□□□□□	00
	医療法人持分税額控除額(第8の4表2B)	⑱	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	小計(⑯-⑰-⑱) (黒字のときは100円未満切捨て)	⑲	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	納税猶予税額(第8の8表2⑧)	⑳	□□□□□□□□	00		□□□□□□□□	00
申告納税額(⑲-⑳)	申告期限までに納付すべき税額	㉑	□□□□□□□□	00	□□□□□□□□	00	
	還付される税額	㉒	△	□□□□□□□□		△	□□□□□□□□
この申告書が修正申告書である場合	小計	㉓	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	納税猶予税額	㉔	□□□□□□□□	00	□□□□□□□□	00	
	申告納税額 (還付の場合は、頭に△を記載)	㉕	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	小計の増加額 (⑲-㉓)	㉖	□□□□□□□□		□□□□□□□□		
	この申告により納付すべき税額又は還付される税額 (還付の場合は、頭に△を記載) (㉕又は㉖-㉕)	㉗	□□□□□□□□		□□□□□□□□		

第1表(続) (令和5年1月分以降用)

←この申告書で提出しない人である場合(参考として記載している場合は参考)を○で囲んでください(その人の分は申告書とは取り扱いません)。(注)⑯欄の金額が赤字となる場合は、⑯欄の左端に△を付してください。なお、この場合で、⑯欄の金額のうちに贈与税の外国税額控除額(第11の2表1⑨)があるときの⑲欄の金額については、「相続税の申告のしかた」を参照してください。